

県に対する要望書

令和 6 年 1 0 月 2 5 日

茨城県市議会議長会

県への要望書

	件 名	提出市
※ 1	頻発・激甚化する自然災害への対策について	日立市
2	地域医療体制の充実について	日立市
3	日立市内における国・県道の整備促進について	日立市
4	日立特別支援学校の県への移管について	日立市
5	かみね動物園へのジャイアントパンダ誘致の促進について	日立市
※ 6	緊急自動車の交差点進入時の安全対策についての要望	土浦市
※ 7	筑西幹線道路の整備促進について	古河市
8	国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現について	下妻市
9	鬼怒川架橋（仮称）新滝下橋を含む 主要地方道取手豊岡線バイパスの早期整備を求める要望書	常総市
10	県北地域における産業用地開発の推進と雇用の創出について	常陸太田市
11	茨城中央工業団地（笠間地区）の整備促進及び企業誘致並びに茨城県畜産試験場跡地に係る利活用及びアクセス道路の整備について	笠間市
12	特別支援学級への県費負担教職員の適正な配置	那珂市
13	国道・県道等の整備促進について	那珂市
14	筑西幹線道路のルート未決定区間の早期決定及び整備促進について	筑西市
15	県道筑西つくば線バイパス整備事業村田～松原間（L＝3.1 km）の早期完成及び南側延伸の整備促進について	筑西市
16	主要地方道土浦境線の整備促進について	坂東市

※1, 6, 7 は、重点要望事項

県への要望書（１）

（件 名）

頻発・激甚化する自然災害への対策について

（内 容）

近年、集中豪雨や台風、地震など様々な自然災害が頻発し、住民生活の安全・安心が脅かされる甚大な被害が発生しております。

当市でも、令和５年９月に台風１３号の影響による線状降水帯が発生し、１時間最大降水量・１日総降水量ともに観測史上最大値を更新する記録的な大雨に見舞われ、市内各所において甚大な被害を受けました。特に市内６７河川のうち大沼川などの二級河川４河川を含む３９の河川が溢水したことにより、沿川の住家などで多数の床上・床下浸水などの浸水被害を受けました。

また、一級河川の久慈川、茂宮川、二級河川の十王川においても、大雨の度に氾濫の危険性にさらされている状況であり、各河川の治水対策が早急に求められています。

こうした災害から、市民の生命、身体及び財産を守るためには、ハード・ソフト両面から様々な防災・減災対策のより一層の推進が求められています。

よって、茨城県においては、下記事項について、特段の御配慮をいただけるよう要望いたします。

記

- 1 台風１３号を踏まえた二級河川における災害復旧の早期完了及び緊急対策の促進
- 2 一級河川久慈川改修事業の整備促進に関する国への働きかけ
- 3 一級河川茂宮川改修事業の整備促進
- 4 二級河川十王川改修事業の整備促進
- 5 治水事業の推進に向けた地方財政支援に関する国への働きかけ

以 上

提出市： 日立市

県への要望書（２）

（件 名）

地域医療体制の充実について

（内 容）

全国的な医師及び看護師不足・偏在が問題となっている中においても、三次救急医療の重要な役割を担う「救命救急センター」やハイリスク妊産婦と新生児に高度専門医療を提供する「地域周産期母子医療センター」を運営する㈱日立製作所日立総合病院では、日立保健医療圏の中核病院として、また日立市を始めとする県北地域において、地域住民に対し、安全・安心な医療を継続的に提供し、地域医療体制の確保に取り組んでおり、大きな貢献をしております。

特に救急医療や周産期医療は、人員の確保や医療機器などの設備投資が必要であり、国や県からの補助金の交付を受けているものの、病院の費用負担が非常に大きく、さらには、長引く物価や、エネルギー価格の高騰などの影響もあり、厳しい状況が続くものと考えられます。

今後、少子高齢化が進む本市を始めとした県北地域で、安心して子供を産み育て、住み慣れた地域でいつまでもいきいきと暮らし続けることができる生活環境を確保していくためには、救急医療や周産期医療を含めた地域医療体制の充実強化が必要であります。

また、医療現場における人手不足は深刻な状況であり、県北地域において医師及び看護師を医療機関に呼び込むためには、地元医科大学等との更なる連携強化や最先端の医療機器等の整備を進めるなど、より質の高い医療体制の確保が必要であります。

よって、茨城県においては、下記事項について、特段の御配慮をいただけるよう要望いたします。

記

- 1 地域医療体制の充実強化を図るため、救急医療を提供する民間病院への医師派遣、看護師の確保、最先端の医療機器等の整備を支援するとともに、日立総合病院救命救急センターの安定した運営の継続のため、必要な運営費について支援すること。
- 2 日立総合病院地域周産期母子医療センターの安定した運営の継続のため、引き続き、県、地元医科大学及び県内医療機関との連携を十分に図り、必要な医師及び看護師の確保と運営費について支援すること。

以 上

提出市： 日立市

県への要望書（３）

（件 名）

日立市内における国・県道の整備促進について

（内 容）

本市内の国道６号、国道２４５号を始めとする幹線道路や主要な交差点においては、朝夕の交通渋滞が著しく、市民の日常生活の安全・安心、更には地域の産業活動にも大きな影響を及ぼしています。

また、近年、気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や、切迫する大規模地震時等における避難手段や防災機能強化の視点に立った道路整備の重要性及び国土強靱化に資する幹線道路整備の必要性は、ますます高まっています。

さらに、持続可能な成長のためには、重要な都市基盤である幹線道路の整備が必要不可欠であり、幹線道路ネットワークの形成による民間投資の拡大や雇用の促進、地域経済の好循環の加速、拡大など、多くのストック効果が期待されるところであります。

加えて、重要港湾である茨城港日立港区の港勢拡大に合わせ、物流機能の強化が求められていることから、幹線道路の整備が必要であります。

よって、茨城県においては、下記事項について、特段の御配慮をいただけるよう要望いたします。

記

- 1 一般国道２４５号久慈大橋（留町～久慈川）の早期完成
- 2 一般国道２４５号日立港区北拡幅の早期完成
- 3 一般国道２４５号（水木町～国分町）の４車線化の早期事業化
- 4 一般国道２９３号（大和田町～留町）の４車線化の早期事業化
- 5 一般国道６号大和田拡幅の整備促進
- 6 一般国道６号日立バイパス（Ⅱ期）の整備促進
- 7 一般国道６号桜川道路（仮称）の計画の早期具体化

以 上

提出市： 日立市

県への要望書（４）

（件 名）

日立特別支援学校の県への移管について

（内 容）

本市においては、障害児教育の先駆的な施設として、昭和４３年に日立養護学校（現在の日立特別支援学校）を設置し、校内における教育に加えて、市内小中学校に対しても支援や指導を行うなど、本市の独自財源により特別支援教育の充実に努めてきました。

しかしながら、設置後５０年以上が経過し、施設設備の老朽化や教室不足のほか、医療的ケアを必要とする児童生徒の受入れ、更には障害の重度化等の課題が生じており、これらの課題を解決し、学習環境の改善を図るためには、改築を視野に入れた校舎整備が急務であることから、「日立特別支援学校整備基本計画」を策定し、施設整備に向けた準備を進めているところであります。

加えて、県内の特別支援学校は、本市の日立特別支援学校のみが市立学校であることから、学校間の連携による行事等の事業展開のほか、指導面での格差が生じていることが懸念され、市単独での施設運営は大変厳しい状況にあります。

よって、茨城県においては、下記事項について、特段の御配慮をいただけるよう要望いたします。

記

- 1 特別支援教育及び特別支援学校の更なる充実・発展のため、日立特別支援学校を県へ移管し、県立学校とすること。

以 上

提出市： 日立市

県への要望書（５）

（件 名）

かみね動物園へのジャイアントパンダ誘致の促進について

（内 容）

茨城県が活力と魅力あふれる県北地域づくりを進めるため、本市とともに表明した「かみね動物園」へのジャイアントパンダ誘致については、本市を始めとする県北地域の活性化や本県の観光振興、更には中国との国際交流及び経済交流などにおいて、多大な効果が期待されるところであります。

県知事を会長とする「いばらきパンダ誘致推進協議会」による官民一体となった誘致活動に加えて、本市においても、市議会の「ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会」において積極的な議論を進めるほか、市長を会長に幅広い組織・団体が参画して設置した「日立市ジャイアントパンダ誘致推進会議」や市民による「パンダ招へいを応援する会」の活動など、全市的な気運の醸成を図っています。

また、「かみね動物園」では、ジャイアントパンダの誘致も見据え、獣舎リニューアルを進めるほか、ジャイアントパンダが絶滅のおそれのある哺乳類の一つであることに鑑み、これまでも絶滅危惧種やジャイアントパンダと同じクマ科の動物の飼育実績を有しており、繁殖に向けた研究にも貢献できるものと考えています。

誘致の実現には、中国との交渉や関係省庁等との調整はもとより、飼育環境の整備を始め、駐車場の確保や周辺道路の交通渋滞対策等のインフラ整備など諸課題の解決に向け、県のより一層の御支援、御協力が不可欠であり、下記事項について、特段の御配慮をいただけるよう要望いたします。

記

1 かみね動物園へのジャイアントパンダ誘致の促進

- (1) ジャイアントパンダ誘致に伴う支援
- (2) かみね動物園及び周辺地域の整備に伴う支援

以 上

提出市： 日立市

県への要望書（６）

（件 名）

緊急自動車の交差点進入時の安全対策についての要望

（内 容）

救急車や消防車などの緊急自動車は、緊急の用務のためにサイレンを鳴らし、かつ、赤色灯をつけて走行します。また、道路交通法の定めにより、緊急自動車が接近してきたときは、車両は交差点を避け、道路の左側に寄って一時停止するなど、進路を譲らなければならないこととされています。

しかし、残念なことに近年では、交差点における緊急自動車の交通事故が多発しています。特に、見通しの悪い交差点や４車線以上の幅員が広い道路の交差点において、サイレンが聞こえにくい場合や赤色灯が見えにくい場合など、交差点内での接触事故が多発しています。

このようなことから、緊急自動車の交差点進入時の安全対策として、次の対策を早急に実施することを要望します。

- （１）緊急自動車が交差点に近づいたことを知らせるサインを信号機に設置すること。
- （２）緊急自動車を優先的に走行させるための信号制御を行うシステムなどを導入すること。

県への要望書（７）

（件 名）

筑西幹線道路の整備促進について

（内 容）

筑西幹線道路は、国道４号から北関東自動車道桜川筑西 IC を結ぶ全長 44 km の広域幹線道路です。本市区間については、第二４号国道から東へ約 6.7 km が供用開始され、更に東伸すべく本市を一部含む八千代町区間約 1.5 km を県事業にて整備が進められているところです。

しかしながら、第二４号国道柳橋北交差点から西側区間については、概略ルートが公表されているのみで、詳細ルートが未だ決定されていない状況ため、整備の目途が立っておりません。

本線は、本市の発展と市民生活の向上意を図るために必要な広域ネットワークでありますので、早期完成に向け、とりわけ本市区間について重点的な予算化による着実な整備の推進を要望いたします。

- ・起 点：茨城県桜川市楸田（北関東自動車道桜川筑西 IC）
- ・終 点：茨城県古河市茶屋新田/大堤（国道４号交点）
- ・全 長：４４km
- ・車線数：計画４車線
- ・筑西幹線道路を構成する道路
 - 国道５０号（桜川筑西 IC 付近 - 筑西市蓮沼）
 - 都市計画道路 一本松・茂田線（筑西市茂田 - 同市一本松：約 5.2 km）
 - 茨城県道２３号筑西三和線（筑西市一本松）
 - 古河市道（仮称）柳橋恩名線（古河市恩名 - 同市柳橋）

提出市： 古河市

県への要望書（８）

（件 名）

国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現について

（内 容）

国道 125 号は、筑波研究学園都市と国道 125 号バイパスなどを結ぶ県南西地域の幹線道路として、地域社会の経済や産業にとって欠かせない重要な路線ではありますが、その一方で、交通量が多く、未整備の箇所も多くみられることから、交通渋滞等の課題を抱えております。

中でも、下妻市内の長塚三差路交差点以西においては、朝夕の通勤時間の交通渋滞は著しく、また、住宅が連担しており、交通安全上大変危険な箇所となっていることから、バイパスによる早急な解消が地域経済の振興や活性化を図るうえでも喫緊の課題となっております。

このようなことから、国道 125 号整備（下妻・八千代バイパス）の早期実現を要望いたします。

提出市： 下妻市

県への要望書（９）

（件 名）

鬼怒川架橋（仮称）新滝下橋を含む

主要地方道取手豊岡線バイパスの早期整備を求める要望書

（内 容）

主要地方道取手豊岡線は、取手市から守谷市を経由し常総市に至る南北を結ぶ重要な主要道路であります。本路線の常総市区域の都市計画道路「鹿小路細野線」の現状につきましては、国道３５４号から主要地方道つくば野田線までの区間４．９ｋｍのうち３．４ｋｍを常総市の合併特例債事業により供用開始し、残区間１．５ｋｍにおいても茨城県による整備が鋭意進められ、年内には、主要地方道つくば野田線から国道３５４号までが開通する予定となっております。この沿線には内守谷・坂手の両工業団地が位置しており、本市においては、沿線地域の振興発展を図るために、地区計画の策定及び工業団地の拡張、企業誘致を積極的に進めているところであります。

また、現在、暫定２車線供用の首都圏中央連絡自動車道が、令和８年度までに全線４車線化されることなどにより、さらなる広域的な交流の拡大や物流の効率化が図られることから、都市計画道路「鹿小路細野線」に対する需要はますます増大するものと思われます。

しかしながら、常磐自動車道谷和原 IC 方面に移動するには、鬼怒川架橋の滝下橋、玉台橋及び豊水橋の３本の橋に限られ、特に滝下橋は幅員が狭く大型車両のすれ違いができず通行に支障をきたしているのが現状です。平成２６年９月に発生した車両事故の際には、滝下橋が通行止めになったことから、近隣市町はもとより千葉県にまで及ぶ広範囲の交通渋滞が発生し社会的・経済的な影響は多大なものになりました。

また、平成２７年９月の関東・東北豪雨では、常総市は鬼怒川の氾濫や浸水による甚大な被害をうけ、市内各所で道路網が寸断され、その影響は鬼怒川東部地域のみならず西部地域にまで及びました。災害時における緊急支援の物資輸送や避難行動を円滑にするためにも広域的幹線道路の必要性を実感したところであります。

このような状況を踏まえ、茨城県においては、常総市区域内の主要地方道つくば野田線以南の都市計画道路鹿小路細野線及び守谷市区域内の鬼怒川架橋「（仮称）新滝下橋」を含む都市計画道路供平板戸井線の早期整備実現を強く要望いたします。

提出市： 常総市

県への要望書（１０）

（件 名）

県北地域における産業用地開発の推進と雇用の創出について

（内 容）

地域産業及び地域社会が持続的に発展していくためには、高速道路、空港・港湾などのインフラ整備とともに、県内企業の再投資や県外企業の新規立地による産業の高度化や雇用の場の創出を図る工業団地等の整備が非常に重要です。一方、こうした県内企業の再投資や県外企業の新規立地先は、臨海部や北関東自動車道以南に偏在しており、特に県北の中山間地域の割合が低いという課題があります。少子高齢化が急速に進む県北地域において、雇用の場を創出するため、工業団地造成など新たな産業用地の開発が必要です。現在、県北地域における分譲中の工業団地は、宮の郷工業団地の１区画（2.5ha）のみです。県北地域は、豊富な森林資源を活用した産業やSDGsに掲げる目標を達成するための研究・カーボンニュートラル産業の展開等には最適の条件を持つエリアです。県北地域に活力をもたらし、県内の企業立地をさらに推進するため、県主導により、工業団地の造成を行うとともに戦略的な企業立地を図ることを要望いたします。

提出市： 常陸太田市

県への要望書（１１）

（件 名）

茨城中央工業団地（笠間地区）の整備促進及び企業誘致並びに茨城県畜産試験場跡地に係る利活用及びアクセス道路の整備について

（内 容）

茨城中央工業団地（笠間地区）は、高速道路網を活用する広域的な複合産業団地として都市計画決定され、造成整備が始まり、令和２年度までに複数の民間事業者への分譲が決定したところであります。しかしながら、未だに分譲用地や都市計画道路などの関連公共施設の一部が未整備であり、全体の早期整備に併せ、更なる企業誘致の推進を要望いたします。

また、茨城県畜産試験場跡地については、市街地に近接し、公共交通アクセスも良く、利便性の高い大規模公有地であり、当該土地の早期利活用は、笠間市をはじめ県央地域の活性化を図る上でも重要なものであります。平成29年度までに、調整池や外周道路の一部などの整備が実施され、西街区については民間事業者による活用が図られましたが、今後は、残る北街区、東街区についても、積極的な企業誘致や住宅整備誘導等幅広い利活用に向けた活動の推進を要望いたします。

併せて、企業誘致により増大する貨物量・交通量に対応し、都市機能の強化を図るうえでも先行して広域幹線道路等の交通体系を整備する必要があることから、茨城中央工業団地関連道路である流通センター東西線（主要地方道大洗友部線）及び流通センター北線・南線（主要地方道石岡城里線バイパス）の早期整備、並びに畜産試験場跡地のアクセス道路である一般県道平友部停車場線拡幅等の整備強化について要望いたします。

提出市： 笠間市

県への要望書（１２）

（件 名）

特別支援学級への県費負担教職員の適正な配置

（内 容）

特別支援学級の児童生徒は、週の授業時間の半分以上を目安に、支援学級で授業を行うこととなっています。

1 学級に複数学年の児童生徒が在籍している場合、担任 1 人では一人一人の教育的ニーズに合わせた適切な指導をすることに限界があります。

特別支援学級 1 学級において、3 学年以上での多学年編成になる場合には、県費負担教職員を複数配置するなど、学校現場の実態を踏まえ適正に配置するような見直しを図ることを要望いたします。

提出市： 那珂市

県への要望書（１３）

（件 名）

国道・県道等の整備促進について

（内 容）

国道・県道等の幹線道路は、各拠点をつなぐ道路網の骨格を形成する道路として最も重要な社会資本であり、地域経済の活性化、利便性の向上、交通混雑の解消や安全・安心の地域づくり、災害時の緊急避難路・重要物流道路として、必要不可欠であります。

現在整備中の国道・県道等について、より一層の整備を促進し早期に完成させることを要望いたします。

（１）国道の整備促進

- ・国道１１８号バイパス４車線化の整備促進

（２）県道等の整備促進

- ・主要地方道瓜連馬渡線（都市計画道路上菅谷・下菅谷線）の整備推進
（ひばりが丘交差点付近）
- ・主要地方道常陸那珂港山方線の整備促進
（水戸外環状道路・茨城北部幹線道路）
- ・一般県道額田南郷田彦線の整備促進
- ・都市計画道路菅谷・飯田線（那珂市飯田地内）の整備（市事業）に向けた国予算の確保

提出市： 那珂市

県への要望書（１４）

（件 名）

筑西幹線道路のルート未決定区間の早期決定及び整備促進について

（内 容）

筑西幹線道路は、古河市を中心とする広域的な都市圏と筑西市、結城市、桜川市など県西地域の拠点都市を結ぶとともに、北関東自動車道とも連絡し、県都水戸市を中心とする県央地域との交流を促進する重要な道路です。

当市区間においても国道 50 号協和バイパスから県道筑西三和線鬼怒川大橋までが当該道路として位置づけられており、鬼怒川大橋が平成 23 年度に、筑西大橋が平成 27 年度に供用が開始されております。

また、筑西市において施工した一本松・茂田線が平成 30 年 3 月に全線開通したことにより、国道 50 号から県道筑西三和線までがつながることとなりました。

さらに、令和 3 年 3 月には筑西三和線から結城坂東線の区間が供用開始しております。

しかしながら、国道 294 号バイパスから筑西三和線関城バイパスまでの区間においては、いまだ、現道利用となっております。当該区間が整備され、筑西幹線が全線開通することにより、沿線市町との広域交流促進、物流の円滑化による地域活性化に大きく貢献することが期待されます。また、近年の激甚化・頻発化する大規模自然災害に対応する防災力強化のため、国道 50 号、国道 4 号等の緊急輸送道路をつなぎ、災害に強い幹線ネットワークを構築する必要性からも、当該区間の 4 車線化を含めた整備促進を要望いたします。

提出市： 筑西市

県への要望書（１５）

（件 名）

県道筑西つくば線バイパス整備事業村田～松原間（L＝3.1 km）の早期完成及び南側延伸の整備促進について

（内 容）

主要地方道筑西つくば線は、県西・北部地域と筑波研究学園都市とを連絡し、今後も人・モノ・情報の交流がますます活発になり、地域の大きな発展への寄与が期待されている路線です。

また、筑西つくば線バイパスについては、平成 29 年度末に県道つくば真岡線から南側現道に接続する約 3,900m が暫定 2 車線による供用開始していただきました。この沿線においては、つくば明野北部工業団地へファナック株式会社が進出し、工場の規模拡大を図り、操業を開始しております。将来的には本社工場と同等規模の生産能力を持つ重要拠点になると伺っており、当該路線は、今後、ますます重要な役割を担う基幹道路であります。

さらに、本路線は、整備中の都市計画道路玉戸・一本松線との接続により、国道 4 号方面へのアクセス性向上を図ることができ、また、研究学園都市であるつくば市へのアクセス機能の充実を図ることができます。

当市といたしましては、企業が活動しやすい道路整備を進め、併せて災害に強い広域ネットワークを構築し、代替性の道路ネットワークが確保できるよう、南側延伸を含め全線の早期整備促進を要望いたします。

提出市： 筑西市

県への要望書（１６）

（件 名）

主要地方道土浦境線の整備促進について

（内 容）

主要地方道土浦境線は、土浦市桜町を起点につくば市、常総市、坂東市を経て、境町伏木に至る幹線道路であります。

坂東市内の北部エリア（沓掛～生子）を東西に通過する当該路線については、圏央道坂東ＩＣや広域農道へのアクセス道路としての役割を担っており、また隣接する坂東インター工業団地の本格稼働が進む中、大型車両を含む車両の通行量が年々増加し、通行車両、自転車及び歩行者にとって非常に危険な状況となっております。

さらに新たな工業団地（フロンティアパーク坂東）の事業着手がなされ、道路交通の円滑化及び利用者の安全確保の観点から、坂東市半谷地内の未改良区間約 332m の道路改良及び交通安全施設（歩道）の整備促進を要望いたします。

提出市： 坂東市